

学力向上に向けた取組

函館市立赤川小学校

1 課題

豊かな心の育成 ～豊かな心と道徳的実践力の育成
確かな学力の育成 ～基礎基本の定着と自ら問題解決ができる子どもの育成

2 課題解決の具体策

読書活動の充実と教育活動全体を通して、道徳的実践力を育成する。
基礎基本の定着を軸とし、課題解決力・表現力の育成を旨とした学習を展開する。

3 取組の概要

豊かな心の育成

あいさつ運動

子どもたちとの出会いを大切にした教職員の朝の出迎え

読書活動の推進

朝の読書活動の推進とボランティアによる読み聞かせの実施

たてわり活動の充実

異学年のふれあいを大切にした教育活動の充実

確かな学力の育成

基礎基本の定着

ワクドキドリル等を活用した算数での基礎基本となる計算力の育成を高めてい
漢字の書きに焦点を当てた指導の工夫

学んだことを生かす授業の工夫

単位時間の学習の中に、学んだことをふり返り活用しながら課題を解決してい
く場面の設定

個に応じた指導の工夫

算数におけるチームティーチングやボランティア
支援員活用による個の実態に応じた指導

地域に学ぶ教育活動

地域の特色を生かした教育活動の充実と相手に伝える
ことを意識させた表現活動



田植え体験

4 成果と課題

継続的にプリントを活用したドリル学習を行うことにより、基礎的な計算力が身についてきている。また、自ら課題解決していく時間を確保することにより、意欲的に学習に取り組む子が少しずつではあるが増えてきている。

学校の教育プランを保護者に示すことにより、課題の共有や学校がめざす子供像への理解の高まりを感じることができた。

日常の教育活動や子どもへのかかわり方など、常にふり返りながら年間を通してめざす子供像への取組、実践が今後とも必要である。

学校通信等だけでなく、保護者との日々のかかわりの中で、課題の共有や共に育てる意識を醸成していかなければならない。